



一般国道168号 五條新宮道路

つじどう 辻堂バイパス

一般国道168号五條新宮道路は、京奈和自動車道や近畿自動車道紀勢線等と一体となって紀伊半島アンカールートを形成する地域高規格道路です。

平成23年9月の紀伊半島大水害では、県南部地域を中心に甚大な被害を受けました。集中復旧・復興期間を終え、今後の県南部地域の産業や観光などさらなる振興を図るため、また、近い将来に発生が危惧される南海トラフ地震等の大規模災害への対応や救急医療を支える「命の道」として国土の強靱化を図るため、国および県により一般国道168号五條新宮道路の整備を進めています。

そして、県が平成11年度から整備を進めてきました辻堂バイパス(延長4.1km)のうち、北側区間(延長2.1km)および南側区間(延長0.7km)が開通しました。

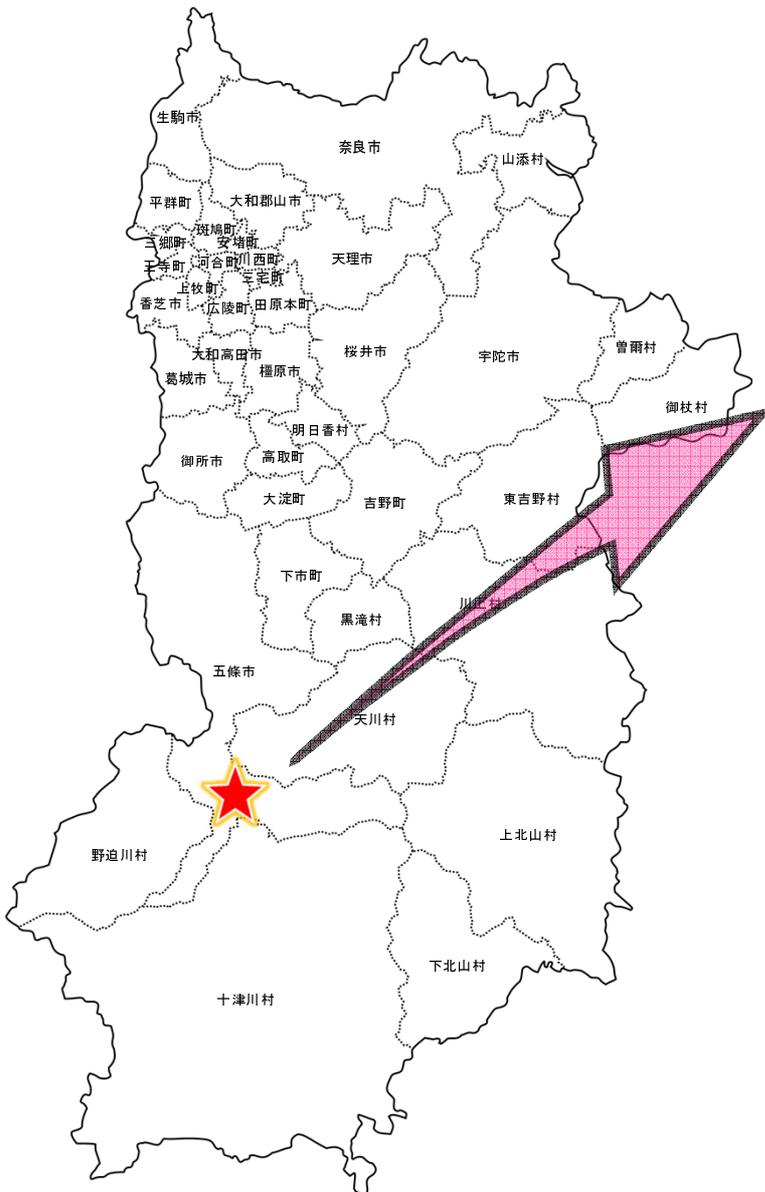
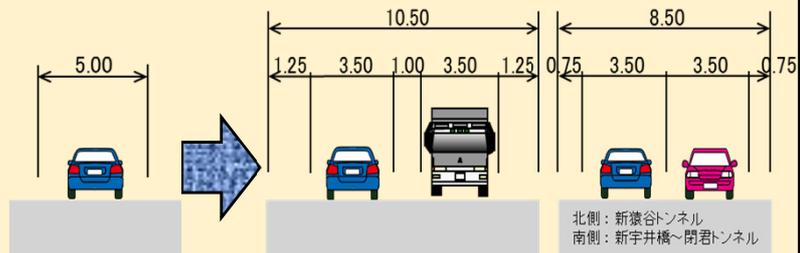
開通日:平成28年3月26日

開通区間:五條市大塔町宇井～小代

延長: L=2.8km

標準幅員: W=10.5m、W=8.5m

◆標準断面図



「奈良県道路網図(平26情使、第737号)を転載」